

## 藻食性魚類の行動解析技術

# 魚に発信機を装着し、 行動を解析して います。



アイゴにかじられた  
海藻（カジメ）

### 背景・目的

- 近年、日本近海では海藻が消失する「磯焼け」現象が問題視されています。御前崎海域でも同様の現象が生じており、その原因は海藻を食べる魚（アイゴ）による食害と推察されています。
- アイゴによる食害を軽減すべく、刺網による捕獲を試みっていますが、うまく捕獲できない状況にあります。
- そこで、魚に発信機を付けて行動を調査するバイオテレメトリー技術を駆使し、行動面からのアプローチを試みています。

### 特長

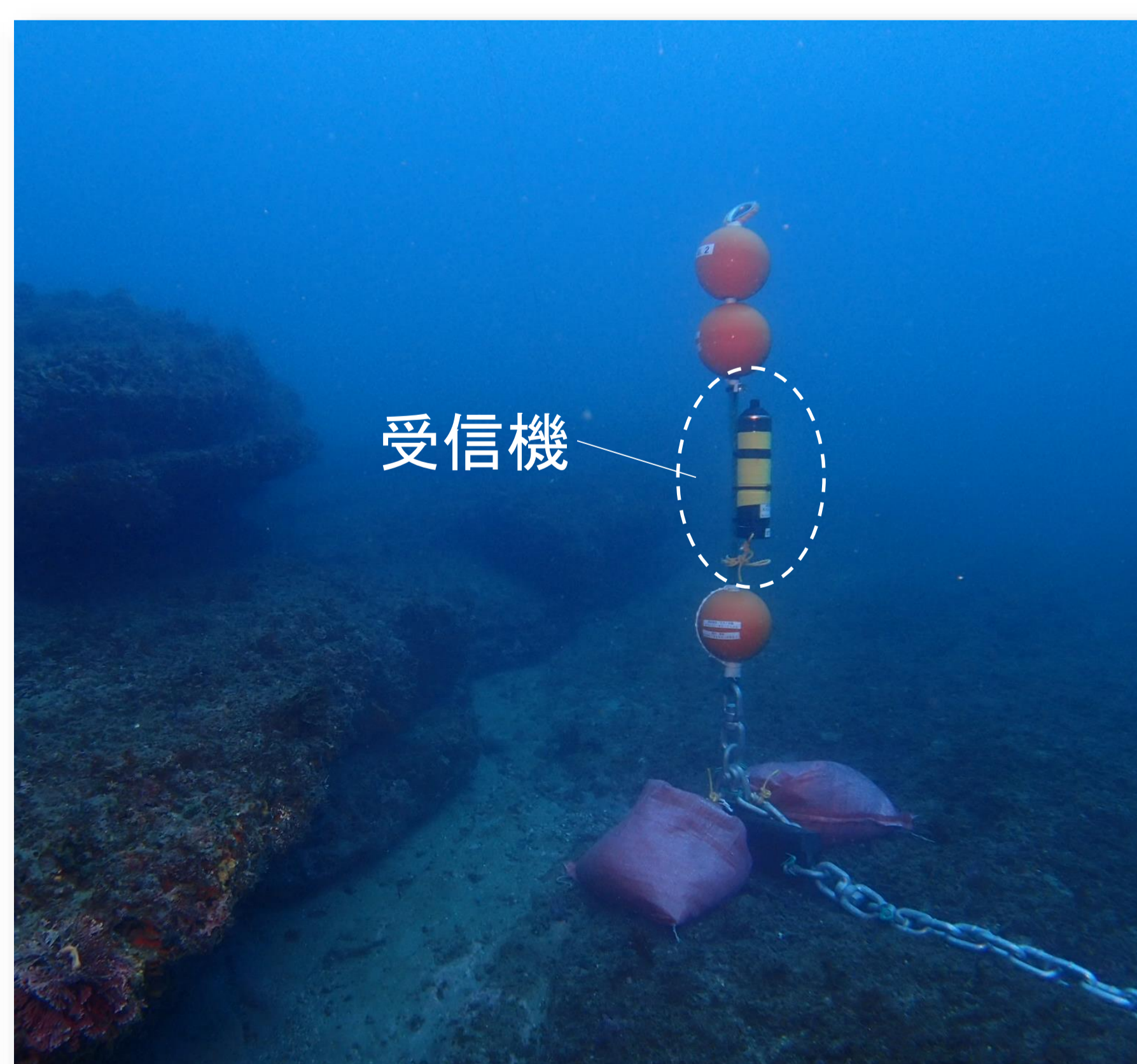
- 長期間（約1年間）の行動を追跡することが可能です。
- 発信機に水圧・水温センサーを搭載することで、遊泳水深と経験水温の把握が可能です。

### 用途

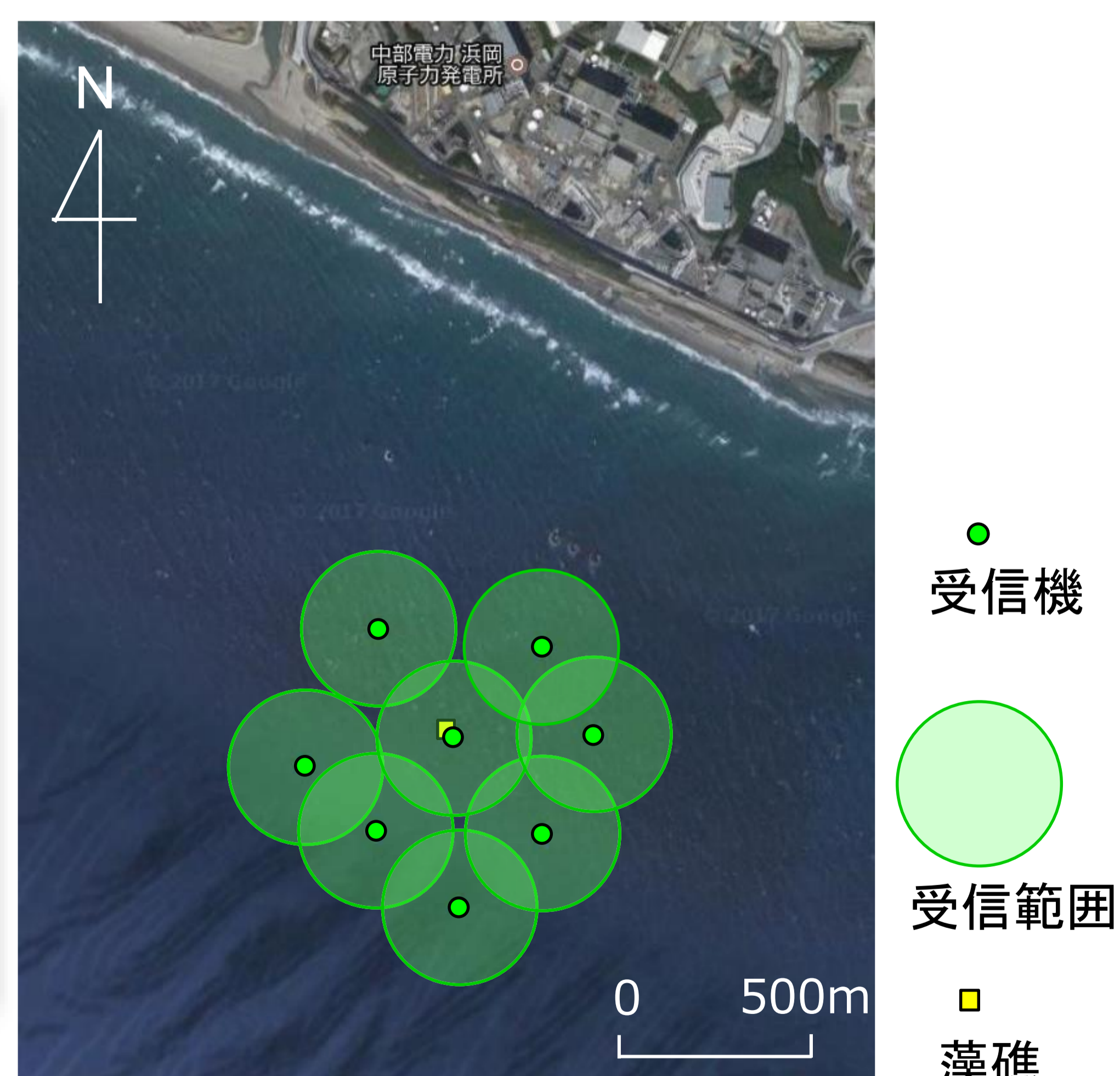
- 水温や波浪等、環境データと行動データを突き合わせることで、行動のパターン化を試みています。
- 魚の行動パターンを把握することで、効率的な捕獲方法の立案を目指します。



アイゴへの発信機の装着



海底に設置した受信機



受信機の配置

### 開発者の ひとこと

海の中は調査が困難なため、未解明な部分が多く残されていますが、様々な新しい調査・解析技術を駆使することで、これまで知られていなかった新しいことがわかりつつあります。